

ただけに、これまでのように、私たちがやると安んじたい。たアイデアには協力を惜しまない。

ただ、民間企業なら基本になる事業に専念していればいいが、行政はそうはいかない。産業政策だけでも第1次産業から3次産業ま

1939年同町宇江城生まれ。65年東京農大醸造科卒。2003年から県工業連合会会長。



## 働の輪

### 観光多彩に

#### 学校@久米島

島(祖)上った。予想を超える成果に「億も夢ではない」とクラ関係者を喜ばせている。

06年のNPO設立は、10年近く行政主導で続けられたプログラム開発が実を結び、修学旅行客の体験ブームにも支えられ、事業を「民営化」すること

に成功したケースだ。

体験は自然や文化、工芸、産業をテーマにした17プログラム。体験を提供する案内人は、久米島紬や三纒、黒糖作りなどのプロを登用、「誰よりも島を知る島の人だから本島の島を体感できる」(石原淳事務局長)とこだわってきた。

島の人による本物の体験を売りに、体験価格(2・3時間で2000~6000円)を設定。案内人に相応の報酬を確保し、持続可能なビジネスを意識している。

石原事務局長は「島の人を下手に利用されては長続きしない。適正な価格や体験事業の量などを調整し、無理なく継続で

黒糖の工程も含  
村工場

